

教材名	はしのうえのおおかみ	教科書	日文（教出・学研・光文・東書）	学年	1年
内容項目	親切・思いやり	身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること			
内容項目のとらえ方 (子どもの実態を踏まえ)	ほんとうの親切や思いやりって何か、考える機会にしたい。そこに信頼関係がないといけない。「親切や思いやりの心もちなさい」ではなくて、信頼しあえる人間関係をつくっていくことが大事だと気づかせたい。				
授業の展開					
子どもたちの活動			指導上の留意点		
<p>1. ものがたりを読む。</p> <p>2. 読んでいて、わからないところや変だなと思ったところがあれば意見を言う。</p>			<p>自由に出させて、みんなの意見も聞きながら物語の場面設定をみんなで確認していく。</p>		
<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さし絵のように短い橋なら相手がわたるのを待っていてもたいしたことはない。 →そだね。ほんとうはもっと長い橋だったのでしょ。 ・はしの真ん中で出会うって、変。渡ってくるのが見えるはず。 →なるほどね。たぶんうさぎも意地があったのかもしいね。 ・細い丸太橋だから、抱きかかえたりしたらおちないかな？ →うん、じゅうぶんありうるね。 					
<p>3. おおかみに抱き上げられて橋を渡ったうさぎはどんな気持ちだったか考える。</p> <p>発表する。</p>			<p>それまでのおおかみの態度はどうだったかを振り返りながら考えるようアドバイスする。</p>		
<p>例：びびった！・ちょっと見直したけど、やっぱりいや。</p>					
<p>4. (このお話のあと、うさぎときつねとたぬきは集まって、この問題について話し合いをした。) 3びきの立場に立って、次の点について話し合いの結果を班で考える。</p> <p>①この問題はもう解決したと思うか？</p> <p>②おおかみに伝えたいことは何か？</p> <p>③この問題を本当に解決するためのアイデアは何か？</p>			<p>例</p> <p>①解決していないよ。</p> <p>②だって、あなたは気分いいかも知れないけど、私たちは恐くて仕方ない。あなたが信じられないから。やっぱり、自分は強いつて思っているんでしょう？「やさしくしてやってる」ってことですよ。ちっともありがたくない。</p> <p>③（これはちょっと予測できません）</p>		
<p>5. 班で出た意見を発表する。</p>			<p>オープンエンドで終わる。</p>		